

平成28年度 事業報告(案)

障害者支援施設 愛の浜園

1. 各事業所活動報告

- ・「津久井やまゆり園の事件」を受けて、防犯カメラの設置や奄美警察署との連携で、不審者対策の訓練を実施した。
- ・グループホームの補助金申請を行い、平成28年度補正予算枠の中で交付決定され対応できた。
- ・管理棟2階のベランダ防水工事を行った。
 - ・高齢化、重度化に伴い、理学療法士による研修を行い、生活支援員の資質の向上を図った。
 - ・高齢化に伴い、介護の専門性を高めるための資格取得を推進した。
 - ・ボランティアや実習の受入れを積極的に行い、風通しの良い施設運営に努めた。
 - ・毎週の訪問歯科や歯科検診により、高齢化した利用者の口腔ケアに努めた。

< 施設入所支援 > 定員:40名

- ・健康面、余暇活動(ドライブ、ビデオ鑑賞、カラオケ等)を充実させ、利用者が安心して楽しく生活できるように工夫をして支援を行った。

計 画	実施内容	反 省	課 題
生活介護事業、施設入所事業と連携を図りながら利用者のニーズを大切に、安全で心地よく生活を送る事が出来るようにサポートする。	<ul style="list-style-type: none"> ・日中、夜間において食事、排泄、歯磨き、入浴、移動の介助、見守り生活に関する相談や助言。 ・余暇の提供、カラオケ、ドライブ、ビデオ観賞。 支援目標達成の為にスキルアップ支援。 ・利用者の高齢化、重度化に伴う介護用品の購入(車椅子、)入浴後に毎回、身体チェック確認、治療。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の健康面は、各部署(看護師、栄養士)と連携を図り、個々の支援内容に応じて取り組む事が出来た。 ・利用者の支援の内容に伴い、活動時間の変更(朝食時間)を行った事で日課がスムーズに行えるようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これからも高齢化、重度化により、日課の内容や時間の調整が必要。 ・利用者の高齢化、重度化に伴い、年間行事の簡素化と内容の変更が必要。 ・利用者の高齢化、重度化に伴い、各部署との更なる連携が必要。

< 生活介護事業 > 定員:45名

- ・生活介護事業では、班別活動(ミラクル班、サポート班、スマイル班)、生産活動(陶芸)、クラブ活動、レクリエーション、ヘルスタイム、ゆらいの日、買い物などで、利用者のニーズや希望に応じた支援を行った。

計 画	実 施 内 容	反 省	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・皆で楽しく、生きがいもてる活動を取り入れ提供し、充実した園生活を送る事を目標にする。 ・個別支援計画に基づき、支援に取り組む。 利用者の力が発揮できるように、スキルアップに取り組む。 ・午前:班別活動 午後:生活支援、生産活動、入浴 ・年間行事の取り組み <p>男性:23名 女性:22名</p>	<ul style="list-style-type: none"> 生産活動、班別活動、全体活動、クラブ活動、ヘルスタイム、レクリエーション、美化活動、外出支援生産活動班:陶芸の作品作り ミラクル班:園内環境整備。自動販売機の管理、花苗植え、作品づくり、販売等就労Bにむけての取り組み、GHに向けての取り組みサポート班:ウォーキング、生活支援、創作活動。スマイル班:リハビリ、身嗜み、ドライブ等全体活動・・・美化活動、花植え、年間行事(年間24行事実施予定)クラブ活動・・・ドライブ、カラオケ、ウォーキング、レクリエーション ヘルスタイム・・・外部講師による健康体操 高齢の方のリハビリ。レクリエーション・・・外部講師による歌や音楽、書道など 外出支援・・・利用者、家族の希望により、外出(カット、外食、買い物、カラオケ等、ドライブ、利用者のニーズに応じた外出) 	<ul style="list-style-type: none"> ・火曜日の外部講師を招いての活動は、実施できて良かった。 ・年間行事は、天候や利用者の状況をみて対応する事が出来た。 ・午後から日課を分け、利用者のニーズに合わせて取り組む事が出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の高齢化、重度化により、日課の内容や時間の調整が必要と思われる。 ・利用者の高齢化、重度化に伴い、年間行事の簡素化と内容の変更が必要と思われる。 ・利用者の高齢化、重度化に伴い、各部署との更なる連携が必要。

(1) 施設利用状況 ()は前年度

	定員	在籍	欠員年間延日数	外泊者年間延日数	30人(109) 232日(247)
男(人)	20	20	0		
女(人)	20	20	0	入院者年間延日数	3人(6) 206日(256)
計(人)	40	40	0		

(2) 年齢構成 ()は前年度

年齢性別	18歳以上 20歳未満	20歳以上 40歳未満	40歳以上 60歳未満	60歳以上 65歳未満	65歳以上 70歳未満	70歳以上 80歳未満	80歳以上	計	平均年齢
男(人)	0(0)	8(8)	9(11)	3(1)	0(0)	0(0)	0(0)	20人	44.55歳 (43.60)
女(人)	0(0)	4(4)	7(9)	3(1)	2(3)	2(1)	2(2)	20人	56.50歳 (56.10)
計(人)	0(0)	12(12)	16(20)	6(2)	2(3)	2(1)	2(2)	40人	50.52歳 (49.85)

(3) 障害区分・施設入所 ()は前年度

区分性別	区分1 円/日	区分2 円/日	区分3 2,450円/日	区分4 3,210円/日	区分5 3,930円/日	区分6 4,650円/日	計
男(人)	0(0)	0(0)	1(0)	4(3)	8(10)	7(6)	20
女(人)	0(0)	0(0)	0(0)	4(2)	4(7)	12(11)	20
計(人)	0(0)	0(0)	1(0)	8(5)	12(17)	19(17)	40

(4) 障害区分・生活介護 ()は前年度

区分性別	区分1 円/日	区分2 4,940円/日	区分3 5,990円/日	区分4 6,650円/日	区分5 9,150円/日	区分6 11,990円/日	計
男(人)	0	0	1(1)	6(4)	9(11)	7(7)	23
女(人)	0	0	0(0)	5(4)	5(7)	12(11)	22
計(人)	0	0	1(1)	11(8)	14(18)	19(18)	45

<就労継続支援B型事業>

- ・利用者が一般就労に繋がるように就業訓練として、農作業や奄美大島の伝統工芸である大島紬の反物作成等の生産活動や、施設外就労(奄美市より委託を受けている資源ゴミリサイクル事業)等にかかる知識、及び能力の向上を目指した個別支援計画を作成し実施する事が出来た。
- ・コミュニケーション能力の向上を目的に言葉使いや対人関係についても日々、支援する事が出来た。

計 画	実施内容	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・自己実現につながる仕事として日中活動を提供 ・多種の生産活動・その他の活動を通して知識と能力の向上 ・日常生活における意思決定や対人関係の構築を図る ・自主性を育てる 1. 個別支援計画の作成・モニタリングの実施 2. 生活支援 ①排泄、衣服の着脱、服装など②時間の認識、食事マナー、	1. 3月、9月に個別支援計画の作成を実施し、その都度モニタリングの実施 ・年2回、作業能力評価表を基に工賃の見直しを実施した。 2. 生活支援 ・個別支援計画書に沿った支援を実施することにより、定時排泄支援、着脱時の服装確認、清潔の保持等身嗜みの修得に向けた支援が実施できた。 ・朝礼、終礼の進行を交代で実施。挨拶や、利用者同士や、職員への呼称は礼	①利用者の高齢化に伴い、作業負担が大きくなってきた。職員の人数にも限りがあるが、今後も継続して委託作業を受託していく為にも、新規の利用者を受け入れや、作業内容の工夫などに取り組む必要がある。 ②工賃向上計画を策定し28年度の月工賃平均額は319,533円(15名分)であったが、今後の利用者の工賃評価によって増額はもとより、能力に応じた減額を検討する必要がある。

<p>交通機関の利用③コミュニケーション(挨拶、言葉使い、連絡)</p> <p>3. 作業支援—作業を通して、集中力や責任感を高めるとともに、働くことの意義や自信を習得することを目的とする。作業を通して得た収益は、利用者に工賃として支給する。</p> <p>(生産活動)</p> <p>①受託作業の充実—分別作業、港公園掃(作業)</p> <p>*施設外就労の実施—7～8名</p> <p>*アルミ缶回収、リサイクル業者への販売</p> <p>②農芸—作業内容の充実を図るために多様な種類の農産物の作成に努めた。(時計草生産販売、果菜、野菜の生産、販売、スモモ、柑橘類の苗管理等)</p> <p>③手工芸—大島紬の機織り(目標:5疋～6疋合格品)、小物製作</p> <p>4. 行事—社会活動の一環として行事を行い、利用者間のコミュニケーションの場や社会学習として利用者のニーズに応じて行事を実施。</p> <p>5. 健康管理—健康相談、口腔内衛生、インフルエンザ予防接種</p> <p>体重、血圧測定、</p>	<p>儀正しく実施する事が出来てきた。</p> <p>3. 作業支援</p> <p>①平成28年度も受託作業2件契約。ペットボトルの量が増え、8月から12月まで分別の仕事が忙しかった。他の事業は、年間を通して計画通り実施できた。知名瀬港公園清掃業務は、主に女性利用者と職員が週3回従事した。</p> <p>*施設外就労実施—奄美市クリーンセンター隣:資源ゴミ分別事業</p> <p>平成28年4月～29年3月</p> <p>利用者工賃:4,153,940円(賞与345,000円)</p> <p>②農芸:主に果実や野菜の生産、販売に取り組み、利用者の作業スキルアップに努める事が出来た</p> <p>昨年は台風など自然災害が多く。防風林の増設などで風対策を実施。</p> <p>③手工芸:機織り2名従事 大島紬反物検査出し10疋合格。大島紬の端切れを材料に小物作り、販売を実施。</p> <p>4. 行事</p> <p>・一日遠足、花見、浜下り(旧桃の節句)、買い物支援等。</p> <p>5. 健康管理—計画通り実施できた。</p>	<p>③農芸・手工芸など作業内容の充実。</p> <p>④利用者の高齢化により、慢性疾患など健康管理に留意する。</p>
---	---	--

<短期入所・日中一時支援>

・車椅子利用者の複数名の受入れを可能にするために、職員を手厚く配置するなどの取組をおこない対応した。

計 画	実施内容	反 省	課 題
<p>利用申し込みがあれば、サビ管と相談をしながら受け付ける。健康状態によっては利用をお断りする場合もある。長期、継続利用の方については日中活動等、本人の希望や状態に合わせて支援計画を立てる。送迎や病院受診は、基本的に保護者の責任の下で行う。利用者の健康面、安全面を考慮した支援を行う。利用者の持ち込む衣類や道具類は、物品確認表やカメラを使い確認をし、帰宅時確実に持ち帰り頂くようにする。</p>	<p>短期利用(4月～3月利用延べ日数:770日)</p> <p>・男性8名、女性1名 13人(6人)</p> <p>770日(1096日)</p> <p>日中一時利用(4月～3月利用延べ日数:454日)</p> <p>・男性5名、女性1名 9人(9人)</p> <p>454日(639日)</p>	<p>・短期入所利用者の持ち物を紛失する事があった。</p> <p>・余暇提供の充実を図る必要性を感じた。(余暇用具等)</p>	<p>・利用者の施設利用期間中に、私物の保管・確認を確実に行う。</p> <p>・支援中の事故がないように安全かつ確実な支援を行う。</p> <p>・喫食、欠食届けを確実に提出する。</p> <p>・短期利用中の体調不良時は家族と連絡を密にとり、病院受診も検討する。</p>

・利用状況

()は、前年度

	契約人数	利用延日数	目 的
短期入所	13人 (6人)	770日 (1096日)	・緊急的に在宅での生活が難しい方の利用(安全面の確保など)
日中一時支援	10人 (10人)	454日 (639日)	・ご家族の介護負担の軽減 ・本人の希望

<ヒヤリハット>

事故やヒヤリハットの事例を迅速に報告し、情報の共有に努め職員一人ひとりの意識を高め、又、事故やヒヤリハットの原因を見極め、有効な対策を立て、今後の事故防止やサービスやケアの向上に繋げた。ヒヤリとした事やハットとした事の事例を検討し、職員で情報を共有する事で再発防止に努めた。

内 容	件 数	備 考
・転倒	13件	昨年よりヒヤリハットの報告が10件減っており、職員の意識が向上したと思われる。ヒヤリハットが発生した際に、現場にいる職員で仮の対策をとり、再発しないように早めの対策を取った。しかし、話し合いをしたにも拘らず、服薬ミスや転倒、無届外出などが再発し、対策が意味をなさない事もあった。在宅からの方のヒヤリハットが5件もあがった。
・怪我	13件	
・無届外出	12件	
・服薬忘れ	8件	
・その他	42件	
	計88件	

大きな事故に繋がらないように、今後もヒヤリハットで小さな事でも拾い上げ、職員の共通の情報共有や理解が必要。薬に関する報告が多くあり、今後の検討課題である。

平成27年度 99件

2. 保健衛生

- ・流行時には県内の感染症情報を報告し、うがい手洗いの励行や消毒等を行い、インフルエンザなど感染症予防対策を強化した。
- ・利用者の健康状態を朝一番に情報収集し、早期発見、早期受診により、利用者の健康管理に努めた。
- ・毎週木曜日の訪問歯科等を利用することにより、利用者の口腔ケアの充実を図った。

	内科	精神科	整形外科	脳外科	外科	耳鼻科	皮膚科	眼科	歯科	婦人科	泌尿器科	計
通院 (人)	204 (271)	433 (387)	2 (6)	1 (5)	3 (9)	22 (16)	93 (93)	34 (41)	394 (244)	2 (1)	2 (12)	1190 (1085)
入院 (人)	0 (5)	0 (0)	1 (0)	1 (4)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	3 (10)

※数字は年間延人数・()は前年度

3. 防災

- ・毎月、避難訓練を行った。(火事、地震、津波、不審者対策)
- ・グループホーム「フレンド」の避難訓練実施。
- ・AEDを利用しての救命講習の実施。

計 画	実施内容(回数/年)	反 省	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・毎月、防災訓練を行う。 ・年2回(6ヶ月の間隔を置く)の総合防災(うち1回は消防署立会い)、地震による避難訓練、津波による避難訓練、不審者対策訓練、前記以外の月に火災訓練を行う。 ・火災による避難訓練は、夜間2回を含み、早朝、日中、夕方を想定した避難訓練を行い、火点も変えて行う。 ・年1~2回、フレンド(G・H)の避難訓練を行う。 ・毎月安全点検(建物、下水溝など)を行う。 ・年2回、町内向けサイレン放送の吹鳴試験を行う。 ・愛の浜園を地域の福祉避難所として登録し、緊急時に地域住民の受け入れを行う。 ・災害用品の購入を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月、避難訓練を行なう。 普通避難訓練 回(早朝:4回、日中:3回、夕方:2回、夜間:1回)風水害訓練1回 総合防災訓練 2回(自主訓練:1回、消防署立会い:1回) 不審者対策訓練 1回 地震・津波対策訓練 回 フレンド(G・H)避難訓練2回 B型事業1回 ・下水清掃は毎週行った。 ・毎月、安全点検を行った。 ・警察を招いての防犯訓練を行った。 ・防犯カメラの設置を行った。 ・地域の福祉避難所の登録を行った。 ・災害用品の購入を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練時放送器具や火災通報装置の使い方が分からない職員が多かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・夜間想定避難訓練時に利用者誘導方法など検討していく必要があった。 ・放送器具や火災通報装置の使い方を全員が理解する必要があった。 ・今後も災害用品を順次揃えていく。 ・地域の消防団と連絡をとり連携強化を図る必要性がある。

4. 研修

・研修では、毎月の職員研修会で、利用者の支援の在り方、制度の情報、出張で学んだ事を共有し、職員の質の向上に努めた。

計 画	実 施 内 容	反 省	課 題
<p>・各部署で必要な研修を取り入れ、職員のスキルアップを目指す研修をする。 (制度、人権、虐待、共通理解、出張報告、感染関係、防災関係、レクレーション)</p>	<p>4月:愛の浜園農園の見学。 5月:インフルエンザの為、研修会は中止。 6月:勤務の関係で研修会はなし。 7月:横井危機管理室長研修 新任研修出張報告 8月:防犯対策不審者対策についての講習会 9月:運動会打ち合わせ 10月:障がい者雇用について 11月:風水害についてのマニュアル (読み合わせ) 12月:風水害訓練 反省会 1月:障害者差別解消法(読み合わせ) 2月:避難訓練の反省会(夜間時) 大島地区合同研修会(希望の星学園) 3月:勤務の関係で研修会はなし。</p>	<p>・職員研修会の実施は、職員の勤務の関係で、実施できない月もあった。 ・今年度から時間外の研修もあった。 ・研修の計画を1ヵ月前にある程度の予定を伝える事ができた。 ・職員の要望に応えられる研修ができなかった。(※リハビリの件:今年度中に打ち合わせ、話し合いはできたが、実施までは至らなかった。)</p>	<p>・研修の在り方の見直し ・リハビリの件(講師を招いて指導を受ける。)</p>

5. 相談・苦情解決

計 画	相談・苦情内容	反 省	課 題
<p>利用者はもとより、そのご家族、外部からの苦情・相談・意見等を「お客様の声」と真摯に耳を傾け、問題解決や再発防止の徹底を図り、誠意をもって対応し、健全かつ、適切なサービスの質の向上に努める。</p>	<p>苦情件数 <u>8月1件</u> <u>11月8件</u> <u>計 9件</u> 内容 8月:1件 ・支援の変更について:支援についてのあり方、連絡、報告がなかった。しっかり伝えてほしい。そういう事から信頼関係を失ってしまう。 11月:8件 ・施設入所利用者が施設からGHフレンド2利用者の部屋へくる為嫌な思いをしている。 ・ミニサラダ(お菓子)が湿気ていた。・おやつの種類を増やしてほしい。・チョコパイが食べたい。・魚の種類が少ないと要望がある ・ブランコを乗る時に、公用車が近くにあると、利用者が気になり、拘り行動がある為、移動させてほしい。・屋外のブランコの木がブランコを漕いだ時に顔にぶつかる恐れがある為改善してほしい。・利用者と母親が居室でゆっくりしている時にローカでの職員の会話がうるさくてゆっくり落ち着いて過ごせない。</p>	<p>・ご家族の意見も踏まえ解決に向けて誠意をもって対応した。 ・利用者さんの相談苦情を吸い上げる場面を多く作る必要がある。</p>	<p>・自治会の相談苦情を吸い上げる場面を多く作る。</p>

< 指定特定相談支援事業「ていだ」 >

・平成28年度は契約件数が 150 件近くになった。

計 画	実施内容					反 省	課 題
<p>・利用計画で「ていだ」を利用して いる方々にしっかりとしたサポートが できるようにする。 ・今年度も件数を 増やしていけるよ うに努める。 ・信頼関係を深め る為の努力をす る。</p>	平成 28 年度 請求額 (平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月)				計 画 18,530 円	モニタリング 15,070 円	月合計
	月	新規 計画	利用 計画	モニタ リング			
	4 月	15	30	16	833,850	241,120	1,074,970
	5 月	0	4	11	74,120	165,770	239,890
	6 月	0	10	12	185,300	180,840	366,140
	7 月	2	5	28	129,710	421,960	551,670
	8 月	2	4	10	111,180	150,700	261,880
	9 月	4	5	9	166,770	135,630	302,400
	10 月	0	7	25	129,710	376,750	506,460
	11 月	2	7	12	166,770	180,840	347,610
	12 月	3	4	11	129,710	165,770	295,480
	1 月	1	0	25	18,530	376,750	395,280
	2 月	2	6	21	148,240	316,470	464,710
	3 月	2	3	58	92,650	874,060	966,710
	合計	33	85	238	2,186,540	3,586,660	
* (改) 利用計画は、支援区分期限更新や支給の変更がある時の再計画。					5,773,200		

※利用計画作成 18,530 円 × 118 件 計 2,186,540 円 ※モニタリング 15,070 円 × 238 件 計 3,586,660 円

*平成 27 年度 125 件数 利用計画 請求 85 件(1, 575, 050 円) モニタリング 109 件(1, 657, 700 円)

*平成 28 年度 148 件数 利用計画 請求 118 件(2, 186, 540 円) モニタリング 238 件(3, 586, 660 円)

<フレンド>

活動報告

- ・町内の地域行事(敬老会、毎月の市民清掃、豊年祭など)地域の一員として参加し、地域により密着した存在として、意識を高める取り組みをした。
- ・利用者の要望に応じて、日用品の買い物や外食の計画を立て、余暇時間の充実を図った。
- ・年間行事を通し、他事業所と密に触れ合う機会を設定した。

計 画	実 施 内 容	反 省	課 題
<p>(定員 16 名)</p> <p>・共同生活の場において、食事の提供、相談その他の日常生活の援助を行う事により、自立した生活が出来るように支援する。</p>	<p>・ホームの管理 世話人頼連携し建物、備品の管理を行う。</p> <p>・地域社会との連携 地域の豊年祭、敬老会、町内清掃作業など地域行事 知根小学校運動会、学習発表会 知根地区文化祭へ参加(作品展示) 納涼大会、奄美祭り花火見学、運動会 感謝祭、クリスマス会、忘年会、遠足 地区、県障害者スポーツ大会参加</p> <p>・利用者の支援 夜勤者による巡視、戸締り確認(毎日) 金銭出納帳の確認及び生活上の相談</p> <p>・健康管理(月 1 回の健康相談、定期受診・歯科) インフルエンザ予防接種実施 奄美市ガン検診、複合検診</p> <p>・医務、栄養士と相談、連携を取り、食事療法と朝、夕のウォーキングなど、生活の中で習慣として取り組み</p>	<p>・加齢による腰痛、膝痛を訴える利用者が増えてきた。</p> <p>・ホームの利用者同士の人間関係のトラブルが多かった。(各事業所、相談事業所との連携)</p> <p>・ヒヤリハット 5 件 事故報告書 3 件 話し合い 8 件</p> <p>薬のセット忘れ、確認不足による誤薬、火傷、怪我等が発生した。世話人、支援員の個々の意識を高め、薬の誤薬、忘れがないように努める。</p>	<p>・ガン検診、早期治療</p> <p>・熱発、体調不良のためホームで静養する利用者の支援体制。</p> <p>・服薬管理</p> <p>・余暇支援の充実</p>

	るよう支援した。 ・苦情処理、安全点検、水質検査、避難訓練 ・個別支援計画に基づいた支援 外出、買い物、外食、理美容、余暇支援		
--	--	--	--

年間行事

月	日	内容	備考
4月	1 8	新年度事業開始 旧桃の節句	・施設入所40名 生活介護45名 ・知名瀬の海岸
5月	1 15	創立記念日 面会日 鹿児島県障害者スポーツ大会	・記念日を祝う(紅白まんじゅうを提供)、運営方針、支援計画の説明 ・利用者(11名参加) ・鹿児島県(知的、身体、精神)
6月	3 10 26	グラウンドゴルフ大会 一日遠足・旧端午の節句 知名瀬町内会 敬老会	・知名瀬、根瀬部の敬老者とグラウンドゴルフ ・笠利(あやまる岬) ・公民館(フレンド利用者も招待され参加)
7月	1 16 5	海に親しむ(一日遠足) 愛の浜園納涼大会 奄美市花火大会見学	・国直海岸 ・知名瀬緑地公園 ・長浜港にて見学
8月	12	愛の浜園敬老会	・園内(池田さん米寿のお祝いを兼ねて敬老会)
9月	4	町内会豊年祭相撲見学	・知名瀬公民
10月	2 16	知根小学校運動会参加 第40回運動会	・選抜メンバーによる生徒との大玉転がし ・愛の浜園グラウンド(雨天の為中止)
11月	2 6 20 27	大島地区ゆうあいスポーツ大会 知根小学校 学習発表会 北大島地区手をつなぐ育成会スポーツ大会 感謝祭	・喜界町総合グラウンド(利用者18名職員7名参加) ・知根小学校体育館(舞台上で発表) ・知名瀬漁港でグラウンドゴルフ大会 ・園内(多目的ホール、中庭)
12月	9 28 30	クリスマス忘年会 餅つき 御用納め	・奄美サンプラザホテル ・園内(多目的ホール)
1月	4 10 29	御用初め 年の祝い 大和海ボランティア(餅つき)	・園内(多目的ホール) ・園内(多目的ホール)
2月	4 15・22	花見遠足 定期健診	・龍郷秋名方面 ・園内(多目的ホール)
3月	30	旧桃の節句	・知名瀬海岸